

談話

GPIF は徹底した調査で疑惑解明を

厚生労働省は GPIF に説明責任をはたさせろ

2024年12月27日

全日本年金者組合

書記長 木田保男

現在、積立金管理運用独立行政法人（以下 GPIF）は 250 兆円を超える厚生年金、国民年金の積立金を厚生労働大臣の委託を受けて運用しています。巨額の年金積立金は長期的・安定的に運用されることはもちろんですが、運用利益があっても不正や癒着あってはならないものです。

報道された最高投資責任者のマニュアルを無視し、国債の取引企業十数社から引き合い（見積）をとるべきところを特定の 2 証券会社取引を 2023 年 7 月から 2024 年 3 月まで独占させていたことは許されることではありません。しかも 1 社の役員には特定の情報まで伝えていたと報じられています。昨年 12 月に内部通報が届き、執行部の下部が調査に当たり調査実務は外部の法律事務所に委嘱したものの第三者委員会は設置に至りませんでした。

2024 年 6 月 26 日付監査報告で監査人 2 人は、内部統制は概ね適切に機能していると認めます。一方で改善と機能強化が必要であると認めます。役員の職務の遂行に関する不正行為又は法令等に違反する重大な事実については認められませんでした。しかし、監査人の一人は、監査結果に反対であり、内部統制システムについては著しく不当な業務執行を防止できなかったのみならず、発見が遅れ、通報によって発覚した後においても、関係者に対して速やかに適切な制裁もしくは懲戒又は監督措置（以下「処分」という）がなされるべきところ、何らの処分も行われず、かつ、その後も有効な是正措置が採られないまま、関係規定に違反する業務執行が継続して行われたことに照らし、重大な欠陥があり、早急にこれを是正する必要があると認める。としています。7 月 26 日の第 21 回社会保障審議会資金運用部会においても監査人の一人が同様の意見を述べているにもかかわらず、最高投資責任者への処分は口頭注意にとどめ、内規を是正する程度にしています。

全日本年金者組合は、年金に関わる組織として GPIF が国民に対して事実が究明されているか調査結果を示し、厚生労働省は、GOIF が国民に対して説明責任を果たすよう責任を強く求めるものです。